



開校10年

美鳩



中野区立美鳩小学校

令和8年6月

第3号(通巻122号)

ホームページではカラーでご覧いただけます。

<https://sites.google.com/kvoiku-nakano.net/mihato/>

「思い遣り」

主幹教諭

5月20日(水)と23日(土)に運動会が行われました。この仕事を20年近くやっていますが、運動会での子どもたちの姿を見るたびに、胸が熱くなります。運動会では、主に「表現運動」「団体、個人競技」など様々な運動があります。学校によっては、高学年が係の活動などに取り組むこともあり、子どもたちの活躍の場がたくさん設けられている行事とも言えるでしょう。

今年度の運動会のスローガンは、「みんなで協力し 最後まで全力で!!」でした。スローガン決めでは、「どんな気持ちで運動会に取り組みたいか」という視点で、各クラスから意見を募り、代表委員会のメンバーがまとめてくれました。たくさんの言葉がある中で、それぞれの「気持ち」を大切に、言葉選びをしたとのことでした。一見、よくある言葉に思えるかもしれませんが、決まるまでの経緯を聞くと、子どもたちの運動会にかける「気持ち」が改めて伝わってきました。

さて、先月5月18日は「言葉の日」でした。言葉には様々な種類がありますが、同じ言葉を発しても、伝わり方が変わってきます。なぜかという、その言葉の裏には、発する人の「思い」が込められているからです。また、言葉だけでなく、行動にもその人の「思い」が現れるものだと思います。

ある学校生活での出来事です。みんなの前で発表している友達がなかなかうまくいかない場面で、拍手を送って励ます姿が見られました。これは、言葉ではなく拍手という形が、励ましの気持ちとして現れたのではないのでしょうか。そこには、相手を大切にしたい、元気になってほしい、という「おもいやり(思い遣り)」があったと思います。今回の運動会で言えば、各学年の表現運動や競技を鑑賞している時に、他学年の友達に対して拍手をしたり、励ましの言葉を発したりする姿です。

「思い遣り」は、自分の「思い(心に抱く気持ち)」を相手に「遣る(向ける、届かせる)」ことです。自分に心を向けてくれる人がいることで、救われたり、勇気をもったりする人がたくさんいるかもしれません。

情報社会の近年では、多くのことが便利になっています。しかし、便利がゆえに効率を重視し、人との関係が希薄になりがちでもあります。そんな現代社会だからこそ、みんなが自分以外の人へ、「思いを遣る」ことを増やして欲しいと願っています。その一人一人の「思い遣り」があふれる地域や学校は、きっと幸せな場所になっていくのではないのでしょうか。

6月 生活指導目標 「友だちのよいところを見つけよう」

美鳩小には、明るくて優しい子どもたちがたくさんいます。子どもたちの姿から、保護者の方々の愛情を日々感じています。家庭で優しさや温かさを受けると、子どもたちは自分を好きになり、友達を受け入れられるようになります。

また、友達のよいところをたくさん見付けられる子は、自分の良さも見付けられます。自己肯定感をもてる子は、周囲を受け入れ、優しい気持ちをもてる子になります。

今月は、全校で「友達のよいところ」を見付けてカードに書くという取り組みをします。

「この子のこんなところが素晴らしいな」と思っていることを言葉にして伝えることで、さらに友達との仲が深まることを願っています。

【生活指導部】